

聴講者用マニュアル

2021 年度 組織学会年次大会 大阪市立大学実行委員会

I. セッション開始前

- 発表会場となるミーティングルームに入室する。
 - 発表会場ごとに個別のミーティング ID が割り振られている。入室したい会場の ID (大会プログラムに記載) とパスワード (confit からの配信メールに記載) を確認し、入力する。
 - 入室の際は、Zoom 上で表示される名前を「**氏名_所属**」と設定する。例：市大花子_大阪市立大学
 - 聴講者は必ず カメラ OFF /マイク OFF (ミュート) の状態で入室する。とりわけ **マイクの設定はハウリングの防止にとって重要**となる。ハウリングが発生すると、発表や質疑応答の円滑な進行を妨げかねないため、入室の際はよく確認すること（右欄も参照）。



II. セッション開始後

- 発表中も聴講者側のカメラやマイクが ON にならないよう注意する。
- 質疑応答の際は、必ず テキストチャット上に氏名と所属を書き込み（この書き込みが挙手として扱われる）、司会者や発表者からの指名を待つ。zoom のシステム上の挙手機能は用いない点に注意すること。
- 指名されたら速やかにカメラやマイクを ON にし口頭で質問・コメントを行う。発表者からの応答を得たら再びカメラやマイクを OFF にする。
- 接続不良等により質疑応答が円滑に進められない場合には、司会者や発表者の判断によって質問をスキップすることがある。

III. その他の注意事項

- セッションでは、質疑応答に移るまで（司会者からコメントや質問を募る発言があるまで）は、テキストチャット上での挙手は控えること。
- Zoom アプリケーションにつきましては、最新版へのアップデート(インストール)を予め行っていただきましたうえでの大会参加をお願いいたします。

参加者全員に関わる注意事項

2021 年度 組織学会年次大会 大阪市立大学実行委員会

I. 音声入出力機器（スピーカーやマイク等）の設定

- ハウリング防止のため、音声でのやり取りを行う場合（発表者・司会者・質問者）は、外部接続のマイク+イヤホン、あるいはヘッドセット等といった音声入出力用デバイスの使用を推奨する。

II. 共同ホスト権限の付与と強制ミュート等の対応

- 司会者および発表者には、入室時に共同ホスト権限を付与し、任意の聴講者のマイクやカメラを強制的に OFF にできるようにする。発表や質疑応答を円滑に進行させるために必要な場合は、司会者・発表者・実行委員会が上記の機能を使用する場合がある。

III. 受信映像等の取り扱い

- 発表および質疑応答の映像・音声・テキスト等を再配布することは禁止とする。
- その他、学会における各種コンテンツの取り扱いについては、一般社団法人電子情報通信学会「ビデオ会議での映像コンテンツのガイドライン」(https://www.ieice.org/jpn_r/event/taikai/2020/online/assets/pdf/guideline_for_video_conferencing.pdf) 等を参照されたい（同学会から使用の承諾を得ている）。

IV. 緊急時の対応

- セッションにおいて、何らかのトラブルにより発表時間を十分に確保することが難しくなった場合には、セッションリーダーと協議のうえ、当該発表を予備の発表枠（夕方）に繰り延べて実施することがある。
- その他、個別のミーティングルームあるいは zoom 全体が何らかのトラブルにより使用不可能になった場合には、組織学会年次大会公式ウェブサイトで、代替手段等についてアナウンスを致しますのでご確認ください。また、Confit を通じてメールでご案内を配信する場合もあります。

お問い合わせ先：aaosocu@gmail.com